

令和5年度事業計画書
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 財団の概況

1 設立年月日 昭和61年1月17日

2 定款に定める目的

本公益財団法人は、静岡県における教育研究の高揚と充実を図り、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 静岡県内の幼稚園[※]・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校及び教育研究諸団体(以下「学校等」という。)で教育に関して優れた研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等に対する顕彰及び奨励並びに助成(※幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む)。
- (2) 静岡県内の学校等で、教育に関して優れた研究を行い又は顕著な実績を挙げている教職員の顕彰及び奨励並びに助成
- (3) 教育に関する講演会・研修会・出版等の事業。
- (4) その他、法人の目的を達成するために必要な事業。

4 所轄官庁に関する事項

静岡県教育委員会 教育総務課

5 会員の状況

該当する会員はありません。

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所 静岡県静岡市清水区辻一丁目1番1号
支部の状況 該当する支部はありません。

7 役員に関する事項(令和5年1月1日現在)

(1) 理事

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
理事長	後藤 康雄	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
副理事長	宮崎 總一郎	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
常務理事	木内 藤男	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
理事	池上 重弘	令和6年6月	非常勤	辞退	県教育長
理事	赤堀 文宣	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教育長
理事	宮崎 正	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教育長
理事	仲田 晃弘	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
理事	木苗 直秀	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前県教育長
理事	池谷 眞樹	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前静岡市教育長
理事	花井 和徳	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前浜松市教育長
理事	長谷川 了	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
理事	中西 勝則	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
理事	酒井 公夫	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
理事	後藤 加壽子	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	料理研究家
理事	後藤 佐恵子	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有

(2) 監事

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
監事	高木 雅宏	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
監事	大須賀 紳晃	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有

(3) 評議員

	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
評議員	戸塚 康史	令和6年6月	非常勤	辞退	県教委課長
評議員	山中 雄二	令和6年6月	非常勤	辞退	県教委課長
評議員	奥山 貴弘	令和6年6月	非常勤	辞退	県職員課長
評議員	奥村 篤	令和6年6月	非常勤	辞退	沼津市教育長
評議員	千葉 一道	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
評議員	北川 和彦	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教委
評議員	石野 政史	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教委
評議員	曾根 明美	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	別紙明細書有
評議員	香田 賢治	令和6年6月	非常勤	辞退	別紙明細書有

(4) 役員等の報酬

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	15名	年度額300万円以内	内、公務員3名は報酬辞退
監事	2名	上記に含む	
評議員	9名	年度額50万円以内	内、公務員他7名は報酬辞退

8 顧問及び選考委員等

(1) 定款第37条に基づき顧問を置く。

- ・6名、任期は特に定めない。非常勤。
- ・報酬: 1回の出席に付き、20,631円、年間50万円を超えない。

(2) 定款第54条に基づき委員会(選考委員会、選考準備委員会等)を置く。

- ・各委員会ごとに7名～10名程度の委員を置く。非常勤。任期は2年、再任を妨げない。
- ・報酬: 1回の出席に付き、20,631円、年間90万円を超えない。

9 職員に関する事項(令和5年1月1日現在)

職名等	氏名	就任月日	担当事務	備考
事務局長	立花 毅	H31. 3. 1	運営全般	各会議・委員会日程等調整
副事務局長	植屋 雅之	R3. 3. 20	経理他	各事業支払、財務
事務局次長	望月 修次	H27. 4. 1	事務方全般	事務局長補佐
広報担当アドバイザー	後藤 すみれ	R2. 4. 1	広報誌全般	
アドバイザー	竹川 暢昭	R2. 4. 1	全般	教育関連アドバイザー
事務	佐藤 恵	H26. 4. 1	一般事務	パート(常勤)
選考協力委員	6名	H30.4.1～R3.4.1	資料作成等	顕彰事業手伝い、不定期

10 許認可に関する事項

- ・平成24年3月19日付 公益財団法人認定 法人コードA005042 代表者 後藤 康雄
認定後名称:公益財団法人はごろも教育研究奨励会 所在場所 静岡市清水区辻一丁目1番1号
- ・平成27年3月26日付 事業変更認定
業務拡大に伴い、「食育支援事業」「施設等拡充支援事業」に新たに「教育関連事業に対する支援事業」を追加申請し認定を受ける。
- ・令和2年12月25日付 事業変更認定
業務拡大に伴い、「公益目的事業1」に新たに「教職員等への安全・安心に係る教育活動に対する支援事業」を追加申請し認定を受ける。

II 財団事業

1 事業の実施計画

(1) 教育研究助成事業

県内において有効適切な研究テーマを設定して、意欲的に教育研究に取り組もうとする学校等及び教育研究諸団体に対して、授与要項に基づき助成金を授与し、教育研究に対する助成を行う。

- ① 令和4年度第22回は、65件の応募に対し、授与要項に基づき、50件の受賞者を選考、令和4年7月に「助成賞授与式」をコロナ禍の影響で3年ぶりに挙行了た。令和3年度は応募数66件。
- ② 令和5年度第23回ははごろも教育研究助成賞事業計画
県下国公立幼稚園(幼保連携型認定こども園を含む)・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校及び教育研究諸団体より教育研究計画を募り、当財団の選考委員会に於いて優秀な教育研究計画を単年度35件程度、複数年度(最大3年間)15件程度選考し、単年度は1件につき50万円、複数年度は1件につき1年40万円の教育助成金を授与する。
・令和5年2月中旬「令和5年度第23回はごろも教育研究助成賞授与要項」を全県下学校及び教育研究諸団体へ発送。

- ・令和5年5月8日 応募締切、選考開始
- ・令和5年7月13日 「第23回はごろも教育研究助成賞」の授与式及び記念講演会開催予定。
- ・助成賞受賞校より幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校及び教育関係諸団体の中から数校選出し訪問、教育現場における研究課題及び成果を視察。今後の事業運営の参考に資するため。

(2)教育研究奨励事業

県内において優れた教育研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等並びに教職員に対して、授与要項に基づき顕彰及び奨励金の授与を行う。

- ① 令和4年度第37回は、158件の応募
授与要項に基づき、77件の受賞者を選考、令和5年2月に「奨励賞授与式」をコロナ禍の影響で2年ぶりに
挙行予定。令和3年度は応募数158件。
- ② 令和5年度第38回はごろも教育研究奨励賞事業計画
県下国公立幼稚園(幼保連携型認定こども園を含む)・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別
支援学校及びその教職員より教育研究成果を募り、当財団の選考委員会に於いて、優秀な教育研究を選
選考して学校賞1件50万円を10件程度、グループ賞1件25万円を10件程度及び個人賞1件10万円を
50件程度に教育奨励金を授与する。
・令和5年6月上旬 「令和5年度第38回はごろも教育研究奨励賞授与要項」を県下全学校に発送
・令和5年10月31日 応募締切、選考開始
・令和6年2月16日 「第38回はごろも教育研究奨励賞」の授与式及び記念講演会を開催予定。

(3)『夢』講演会事業

学校及び教育研究諸団体に対し、児童生徒には講話を通じて学ぶ意欲や生きる力を育み、教職員には講演
会や直接指導を通じ、資質や指導力の向上を図り、もって本県の学校教育の充実・振興と青少年の健全育成
に寄与することを目的とする。

- ① 令和4年度第18回はごろも『夢』講演会開催は、応募数65件(開催件数82回)となった。選考の結果、全て
を採用した。期間は令和4年4月より令和5年2月まで。コロナ禍の影響でリモートでの講演実施はあったが
82回全て開催。選考協力委員及び局員による『夢』講演会視察は68件となった。
- ② 令和5年度第19回『夢』講演会事業計画
県下国公立幼稚園(幼保連携型認定こども園を含む)・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・
特別支援学校及び教育研究諸団体、市町教育委員会より講演開催企画書を募り、当財団の選考委員会
に於いて有意義な講演会企画を70～80件程度選考。当財団が主催し、企画運営は応募者が行う。
受講対象者は、児童、生徒、教職員、保護者。開催費用(諸税込)は一校・団体20万円とするが、予算内
での分割開催は可とする。
・令和4年8月7日 「第19回はごろも『夢』講演会実施・応募要項」を全県下学校並びに教育機関へ発送。
・令和4年11月30日 応募締切 応募総数75件、講演企画数101回
・令和4年12月9日 選考委員会を開催し選考の結果、全て採用
・令和4年12月21日 理事長に選考結果を報告し原案通り承認を得、75件、101回開催が決定。
開催実施期間は、令和5年4月1日より令和6年2月末までの期間内。
・101回開催するうち、同一講師を除く『夢』講演会を選考協力委員・局員が可能な限り視察訪問を実施予定。
視察報告書を提出。約75件程度の視察を予定。今後の事業運営の参考に資するため。
- ③ 令和6年度第20回『夢』講演会実施・応募要項発送は令和5年8月上旬を予定。

(4)教職員の海外交流支援派遣事業

教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、並びに姉妹都市交流を支援することにより、もって青少年の
健全育成に寄与することを目的として行う。

- ① 令和2年度派遣者21名、令和3年度派遣者19名、合計40名は、令和3年度に引き続きコロナ禍の影響で
派遣が困難と判断し令和4年度へ延期したが、静岡市教育委員会1名のみ派遣した。
- ② 令和5年度派遣については、当面新型コロナウイルス感染状況の推移から当面困難と考え、昨年6月の理事
会にて承認をいただき、令和4年度に引き続き令和5年度の応募は中止とした。
ただし、静岡市教育委員会から1名の派遣依頼があり、1名を選考した。
- ③ 令和6年度第13回教職員の海外交流支援派遣実施要項発送は令和5年6月中旬を予定。

(5)食育支援事業

本事業は、平成22年に県教育委員会が「学校における食育ガイドライン」で、学校における食育推進の重要性
を公表したことを受け、財団としても青少年の健全育成に寄与する大事な教育活動として捉え、学校の食育支援
事業の推進を支援、助成を行う。

具体的には「直轄事業」として各教育委員会、教育研究諸団体に対し当財団が、主体的に講演活動等を行う。
「支援事業」としては、講演会費の助成、設備費及び資料作成費等、学校給食における様々な要望に対して
支援活動を行う。

事業計画実施については、理事会にて令和5年度予算承認を受ける。

- ① 令和5年度財団主催による食育講演会等の直轄事業計画
・計画無し

② 令和5年度支援事業計画

ア 静岡県教育委員会

- ・食育啓発事業 子どもたちの望ましい食習慣改善のための書き込み式リーフレット作成費用助成
- ・地場産物を活用した食育推進
食材を生かした食育用及び周知用チラシのデジタルデータ等の作成費用助成
- ・静岡茶愛飲定着化事業 「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」に基づき、静岡茶の愛飲を促進する。茶器等購入費用(6セット)助成
- ・和食文化推進事業 だし文化推進のため、和食の日に関する事業を実施する。和食に関するPR動画の作成費用・学校における食育教材提供費用助成
- ・茶文化推進に係る給茶機整備事業 茶文化推進のため、希望する市町立小中学校等に給茶機を設置する。給茶機購入設置費用(5台)助成

イ 静岡市教育委員会

- ・計画無し

ウ 浜松市教育委員会

- ・食育啓発クリアファイル 子どもたちが自ら栄養バランスを考えた食生活を実践する力をつけるとともに、保護者への啓発を兼ねて食育のクリアファイル作成費用助成(素材を紙に変更)
- ・保存食用冷凍庫 安全や衛生に気をつけて調理を行い、子どもたちにとっても安全・安心な学校給食提供するために検食用冷凍庫購入費用(6台)助成

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・静岡県私学協会 令和5年度私立中・高校生料理レシピアイデアコンテスト費用助成

(6) 施設等拡充支援事業

本事業は、県下の教育機関等の施設等拡充支援要請を受け、公的教育機関の施設等拡充を図ることを目的とする。

具体的には、県教育委員会、市教育委員会及び県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課管轄の私学協会、私立幼稚園振興協会に対し、施設等の設置支援を行う。

事業計画実施については、理事会にて令和5年度予算承認を受ける。

令和5年度施設等拡充支援事業計画

ア 静岡県教育委員会

- ・学習の居場所づくり事業 電子図書館サービスの利用において、個別の情報端末機を利用出来ない児童、生徒及び学生に対して、館内利用可能な貸出端末の整理し、情報格差(学習環境格差)の解消を図る。情報端末機(iPad)等購入費用助成

イ 静岡市教育委員会

- ・特別支援教育センター研修用端末機購入 特別支援教育センター主催の研修にて使用する端末機購入費用(1台)助成
- ・特別支援教育センター3階無線アクセスポイント工事 オンライン研修等を実施する環境を整備し、特別支援教育に関する研修等を充実させる。無線アクセスポイント3台設置費用助成
- ・特別支援教育センター4階無線アクセスポイント工事 特別な支援を必要としている児童生徒の指導環境を整備する。無線アクセスポイント6台設置費用助成

ウ 浜松市教育委員会

- ・計画無し

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・静岡県私学協会 私学会館会議室のICT化に対する音響設備の充実
現在視聴中の設備は旧式であることからチャンネル数が少なく、研修会等の運営に支障が出ている。多様化するパソコンや電子黒板等を使用するための親和性の高い設備充実の設備費用。
音響設備購入費用助成

(7) 教育関連事業に対する支援事業

事業拡充に伴い平成27年度事業変更申請認定による新事業。教育現場における様々な教育関連の要望、出版、講演、教職員派遣事業等への支援を目的として設置。

具体的には、県教育委員会、市教育委員会、私立学校等に関連する事業であり、県下教育施設の児童生徒、教職員に直接還元される支援事業を行う。また、県内全体に係わる事業については、財団支援事業として、財団が関連部署との連絡調整を図り、直接管理運営を行う。

事業計画実施については、理事会にて令和5年度予算承認を受ける。

① 令和5年度教育関連事業に関する支援事業計画

ア 静岡県教育委員会

- ・アントレプレナーシップ研修の開催
教員の課題発見・課題解決・企画・提案力等の向上に向けた、アントレプレナーシップ式研修を実施する。研修委託費用等助成
- ・教職員資質向上のための情報共有化システム整理
特設ホームページを開設し、「Eジャーナルしずおか」等の記事を随時掲載する。スマートニュース等の配信アプリと連携し、利用者には、新たな記事がアップされる都度通知されるよう設定する。
ホームページ開設費用助成
- ・就業準備補助事業(通称スタンバイOKサポート事業)
静岡県教職員人材バンク登録者で、直近2年間に教諭としての実務経験のない者が、公立小中学校(政令都市は除く)、県立高等学校、県立特別支援学校において、教員免許状を必要とする任期付教員(教諭)又は臨時的任用職員(教諭)として任命された場合、就業準備に係る費用の一部を支援する。
就業準備費用助成

- ・学校教育における発達障害等の生徒等支援事業(高等学校特別支援教育研究事業)
発達障害の方の職業訓練を行っている教育機関の見学や雇用している企業の方のお話を伺い、発達障害の生徒支援の在り方について研修する。講師代等費用助成
 - ・特別支援学校働き方改革推進事業
令和4年度から令和5年度の2か年かけて行う事業として計画。経験の浅い教員が個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成方法等について学ぶことのできる研修プログラムを作成することで、教員の多忙化解消と教員の資質向上を図り、教員の働き方に資する。研修会等費用助成
 - ・日中青年交流発展事業 静岡県内の各分野の青年と中国浙江省の青年が交互に交流する。参加費半額助成
 - ・静岡県中央図書館子どもコーナー貸出可能資料の充実
県立図書館は県民だけでなく市町図書館・学校図書館・こども園等の団体に対しても資料提供を行うことで県域サービスを実現しているが、児童書は人気のある特定資料のニーズが集中しており、県民への貸出で多く利用されてしまい、団体への提供ができない状況が生じている。利用の多い資料の複本を整備することで、それらの団体への要望に応え、静岡県下における県域サービスの充実を図る。複本購入費用助成
 - ・教職大学院に学ぶ次代のスクールリーダー養成支援事業
教職大学院等の研修費用について支援し、地域・学校において指導的役割を果たし得る職員の育成を行う。修学準備費用・研修費用助成
- イ 静岡市教育委員会
- ・教職大学院に学ぶ次代のスクールリーダー養成支援事業
教職大学院において、自らの教育実践と先進的な理論を結びつけ、直面する教育課題の解決に向けての研究を市内の教職員を奨励助成することにより、本市における教育研究の高揚と充実を図り、もって本県学校教育の振興と青少年の健全育成に寄与することを目的としている。修学準備費用・研修費用助成
 - ・しずおか学副読本 静岡型小中一貫校の特色である「しずおか学」の学習を進めるため「しずおか学副読本」を作成する。副読本作成費用(6冊×120セット)助成
 - ・活用型情報モラル教材『GIGAワークブックしずおか』スタンダード版(小4～6年)作成費用助成
- ウ 浜松市教育委員会
- ・教職大学院に学ぶ次代のスクールリーダー養成支援事業
教職大学院において、直面する教育課題等について研究する教職員を奨励助成することで、本市の学校教育の充実を図る。修学準備費用・研修費用助成
- エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課
- ・静岡県私学協会 学校図書館事業
本会では学校図書館に関する事業が複数行われており、少ない経費で行うため、参加者(校)から参加費を集め、不足分を本会で負担している。参加者の負担を軽減し、より生徒の読書活動を推進するため、この活動について助成をする。
 - ・読書感想文コンクール 児童生徒の読書力の向上と読書生活の習慣化を支援する。作品集作成等費用助成
 - ・POPコンクール 限られたスペースで自分のおすすめの本を紹介する表現力を磨くとともに、活動を通じて、生徒の読書活動を推進すると同時に、読書を通じた生徒及び学校間の交流の場とする。作品ポスター作成等費用助成
 - ・ビブリオバトル 5分間の持ち時間の中で自分が推薦する本の魅力を伝える力を養うとともに、生徒への読書啓発および読書を通じた生徒及び学校間の交流の場とする。記念品代等助成
- ② 財団支援事業計画
- ・NPOキッズアートプロジェクト支援 ミュージアムパスポート作成費用助成 (県教育委員会関連)
 - ・公益財団法人徳川記念財団 家康公顕彰作文コンクール費用助成 (県教育委員会他関連)
(令和3年度より、優秀作品新聞掲載費用追加支援)
 - ・ふじのくに地球環境史ミュージアムの運営費の支援 講演会費用助成
当支援事業は、平成29年度期中より実施、このミュージアムは旧県立静岡南高等学校跡地に平成28年3月にオープン、主たる対象者は児童生徒で、地球の温暖化等に対し持続可能な社会、資源の循環型社会の育成する啓発事業を行うミュージアムとして、準教育機関としての認定を得る。
 - ・NPO法人徳川みらい学会(静岡市教育委員会後援)
静岡市歴史博物館オープンに伴い、静岡の子供たちに、駿府を中心とした歴史学習をフィールドワークを交えながら展開することにより、郷土の歴史に興味を持ち、ふるさとを愛する気持ちを醸成する。(対象者小学生4年生から6年生、6回開催費用等助成)
- ③ 財団設立30周年記念事業(県教育委員会関連)
- 平成28年度、静岡県教育委員会は、国際感覚豊かな人材を育成すべく、グローバル人材育成事業を創設し、社会に支援を呼びかけたことに対し、平成27年度の財団設立30周年記念事業として、積極的支援を図り、平成27年度第2回理事会にて承認を受ける。
 - ・平成28年度は4千万円をグローバル人材育成基金に拠出、以降の平成29年度から令和4年度までは毎年1千万円拠出。令和4年度で終了予定でしたが、県教委より令和7年まで継続の依頼あり。令和4年2月16日第2回通常理事会にて承認され、令和7年度まで実施。総額1億3千万円。
- ④ 静岡県教育委員会(寄附分)
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」親学講座事業
全ての保護者が安心して家庭教育ができるよう、多くの新入生保護者が集まる機会に、親学講座の教材を配布し、生活習慣や規範意識等の家庭教育を啓発する。
小中学校版クリアファイル作成費用助成 事業費総額の寄附

- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」 高校生の読書推進
読書離れの進む高校生の本に対する興味や関心を高め、表現力を磨くとともに、自主的に読書活動に取り組む気運を醸成するため、静岡県高等学校ビブリオバトルを開催している。県内の高校での日常的な読書活動の推進を図るため、その紹介文など掲載するリーフレットを作成し、広報啓発を強化する。
リーフレット作成費用助成 事業費総額の一部寄附
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」 SDGsスクールアワード開催
SDGs達成に向けた、児童生徒による地域課題解決の取組を推進し、県内にSDGsの理念を広く根付かせるため、SDGs達成に関連する取組を募集し、優秀なものを表彰する。
報償金費用等助成 事業費総額の一部寄附
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」 企業による出張講座等
学校ニーズに応じて、企業による出張講座等を実施。各学校から講座等希望を募り協力企業と調整。
報償金費用等助成 事業費総額の一部寄附
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」 大学生による探究支援
県立高校の探究活動に対して県内大学のゼミ生を派遣し、伴走支援を行う。
委託費用等助成 事業費総額の一部寄附
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」生徒企画の「ゆめ授業」の実現
生徒が望む内容を企画し生徒の手で運営する「ゆめ事業」（自主ゼミ・講演会等）を実現
報償費用等助成 事業費総額の一部寄附
- ・「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」 Dream授業・賀茂版の開催
賀茂地区に想いを寄せ力を尽くしている講師陣の講義を開催。日常生活では目に触れない地域の実情や、講師の人間性に触れるとともに、お互いに刺激し合える仲間を地域内に育む。
報償金費用等助成 事業費総額の一部寄附
- ・「人権教育総合推進関連事業」人権教育の手引きの作成
学校教育や社会教育において、授業や講座等の具体的な指導場面で活用できる学習例を取り入れた人権教育指導資料。社会情勢や学校ニーズを捉えた学習例を掲載するほか、人権課題を踏まえたコラムを紹介する。静岡県人権教育の手引きの作成費用助成 事業費総額の一部寄附

Ⅲ 財団運営

公益財団法人として、定款に則り事業運営を図れるよう、公益法人制度の熟知に努め、運営の見直し改善を常に務める。

1 理事会・評議員会の開催

監査報告会等を開催する。

(1) 令和5年度監査報告会及び理事会開催計画

- ① 監査報告会 「双研日栄監査法人」による令和4年度第38期会計諸表及び業務に関する監査報告会を開催、指導を受ける。
開催予定日：令和5年4月21日（金）
- ② 理事会開催予定日
 - ・令和5年5月31日（水） 第1回通常理事会（令和4年度決算審議、定時評議員会審議等）
 - ・令和5年6月中旬 理事会決議の省略「みなし決議」（議案 はごろもフーズ（株）株主総会における、議決権の行使の承認）
 - ・令和5年11月7日（火） 第1回臨時理事会（職務執行状況報告、各要項案の審議等）
 - 第10・11回教職員の海外交流支援派遣者報告会開催
 - ・令和6年2月16日（金） 第2回通常理事会（職務執行状況報告、令和6年度事業計画、予算審議等）

(2) 令和5年度評議員会開催予定日

- ・令和5年6月16日（金） 令和5年度定時評議員会（令和5年度予算報告、令和4年度決算承認等）

(3) 令和5年度選考委員会・選考準備委員会開催予定日

助成賞・奨励賞受賞者等の選考に当るため、各、年2回程度開催する。

- ・令和5年5月12日（金） 令和5年度第23回助成賞選考準備委員会開催
- ・令和5年5月31日（水） 令和5年度第23回助成賞選考委員・選考準備委員合同委員会開催
- ・令和5年10月6日（金） 令和5年度第38回奨励賞選考準備委員・選考協力委員、事前打合せ開催
- ・令和5年11月14日（火） 令和5年度第38回奨励賞選考準備委員会開催
- ・令和5年12月8日（金） 令和6年度第20回はごろも『夢』講演会企画選考委員会開催
選考準備委員・選考協力委員 奨励賞小中学校関係予備選考報告会開催
- ・令和5年12月14日（木） 令和6年度第20回『夢』講演会企画選考結果を理事長へ報告、理事長が決定し、承認
- ・令和6年1月22日（月） 令和6年度第13回教職員の海外交流支援派遣者選考準備委員会開催
令和5年度第38回奨励賞選考委員・選考準備委員合同委員会開催
令和6年度第13回教職員の海外交流支援派遣者の選考委員会開催

(4) 次年度事業検討委員会開催予定日

開催件数は、8月初旬から1月下旬に4回程度開催、事業の見直し・新規事業の企画及び今後の事業運営について検討する。併せて、各教育委員会等からの次年度の事業支援要請に基づき、支援事業内容及び予算の検討をする。

- ・令和5年8月4日(金) 令和5年度第1回事業検討委員会開催
- ・令和5年10月2日(月) 理事長へ報告、答申承認
- ・令和5年度事業検討委員会は奨励賞選考準備委員会に合わせ、その都度開催予定
- ・令和5年11月末に次年度支援事業の申請取りまとめ、2回程度の支援事業検討委員会開催予定
- ・令和6年1月22日(月) 令和5年度第2回合同委員会にて次年度支援事業の予算確認

(5) 教育研究啓発事業

教育研究の啓発に資するため、前年度の奨励賞及び助成賞受賞者の研究成果を「受賞者研究論文成果集」として編集、同様に前年度のはごろも『夢』講演会実施報告書及び教職員の海外交流支援派遣者視察報告書を編集し、県下国私立学校並びに教育関係機関へ発送、配布する。

また、奨励賞個人賞受賞者及び『夢』講演会各講師にも発送。

① 令和5年度「受賞者研究論文成果集」、「報告書」発送計画

- ・令和5年6月に、令和4年度第37回奨励賞受賞者及び第22回助成賞受賞者「受賞者研究論文成果集」を全県下学校等に発送予定。編集作業は令和5年1月より実施。
- ・令和5年8月に、令和4年度第18回のはごろも『夢』講演会実施報告書を全県下学校等に発送予定。編集作業は令和4年度期中より実施。

(6) 広報「はごろもの風」発行活動事業

財団の当該事業を多くの方々に周知し、当該事業の応募、参画を促すことを目的として、平成25年7月号より活動を開始。年4回の発行。令和4年秋号(No.38号・10月発行)より、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」特設コーナーを設置する。

(平成28年度は、設立30周年記念号を平成28年7月に追加発行したことにより年5回となった。)

① 令和5年度広報「はごろもの風」発行計画

- ・4月・7月・10月・1月の年4回を予定する。

(7) 情報公開等

当財団は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料を積極的に公開。

① 公告については定款に則り事務所の見やすいところに掲示。

② ホームページには財団の活動状況等を記載。ホームページは随時更新し、令和4年度の事業報告・貸借対照表は、令和5年度定時評議員会承認後掲載予定。

事業計画の付属明細書

1 役員その他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

区 分	氏 名	兼 職 先 法 人 等	兼職の内容	関 係
理事長	後藤 康雄	はごろもフーズ(株)	代表取締役会長	
副理事長	宮崎 總一郎	清和海運(株)	代表取締役会長	
常務理事	木内 藤男	木内建設(株)	代表取締役会長	
理 事	池上 重弘	静岡県教育委員会	教育長	
理 事	赤堀 文宣	静岡市教育委員会	教育長	
理 事	宮崎 正	浜松市教育委員会	教育長	
理 事	仲田 晃弘	(公社)静岡県私学協会	理事長	
理 事	木苗 直秀	静岡県文化協会	会長	前静岡県教育長
理 事	池谷 眞樹	学校法人常葉学園	理事	前静岡市教育長
理 事	花井 和徳	(公財)浜松市文化振興財団	理事長	前浜松市教育長
理 事	長谷川 了	学校法人聖隷学園	理事長	前静岡県私学協会 理事長
理 事	中西 勝則	(株)しずおかフィナンシャルグループ	代表取締役会長	
理 事	酒井 公夫	静岡鉄道(株)	代表取締役会長	
理 事	後藤 加壽子	料理研究家		
理 事	後藤 佐恵子	はごろもフーズ(株)	代表取締役社長	
監 事	高木 雅宏	(公財)静岡市文化振興財団	理事長	元静岡市教育長
監 事	大須賀 紳晃	(株)静岡新聞社	代表取締役社長	
評 議 員	戸塚 康史	静岡県教育委員会	義務教育課長	
評 議 員	中山 雄二	静岡県教育委員会	高校教育課長	
評 議 員	奥山 貴弘	県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課	課長	
評 議 員	奥村 篤	沼津市教育委員会	教育長	
評 議 員	千葉 一道	(一社)静岡県私立幼稚園振興協会	理事長	
評 議 員	北川 和彦	静岡市教育委員会静岡市教育センター	センター所長	
評 議 員	石野 政史	浜松市教育委員会学校教育部	指導課長	
評 議 員	曾根 明美	(公社)静岡県私学協会	事務局長	
評 議 員	香田 賢治	はごろもフーズ(株)	理事総務部長	

2 その他の記載事項

他、事業報告の内容を補足する重要な該当事項は無し。